

さいたま市立浦和中学校令和5年度入学者選抜 集団面接について

1 ねらい

7名程度の受検生で構成するグループに課題を与え、解決に向けて一人ひとりがどのようにリーダー性、協調性、コミュニケーション能力等を発揮しているかをみる。

2 実施方法

7名程度の受検生を1グループとして、アイスブレイキング（自己紹介）の後、課題について話し合う。

3 課題

さいたま市では、「みんなが創^{つく}って育てる共生のまち・さいたま市」を基本理念とする「さいたま市バリアフリー基本構想^{かか}」を掲げています。この基本構想でも示されている通り、バリアフリー化を推^{すい}進し、共生社会を実現するためには、以下の4つの「社会的障壁^{しょうへき}」つまり「バリア」を取り除^{のぞ}くことが重要となります。

- 交通機関、建築物等における「物理的な障壁（バリア）」
- 資格制限等における「制度的な障壁（バリア）」
- 点字や手話サービスの欠如^{じょ}における「文化・情報面の障壁（バリア）」
- 心ない言葉や視線^しや無知と無関心による偏見^{へん}等の「意識上の障壁（バリア）」

あなたのグループでは、バリアフリー化を推^{すい}進し、共生社会を実現するための具体的な取り組みをさいたま市に提案することになりました。はじめに、4つの社会的障壁（バリア）の中からグループで1つ選び、次に、それらを取り除くために具体的にどのような取り組みを提案するか、その提案理由^{ふく}を含めて、グループで話し合ひましょう。

※偏見 … 1つの方向から物事をみるような偏^{かたよ}ったものの見方